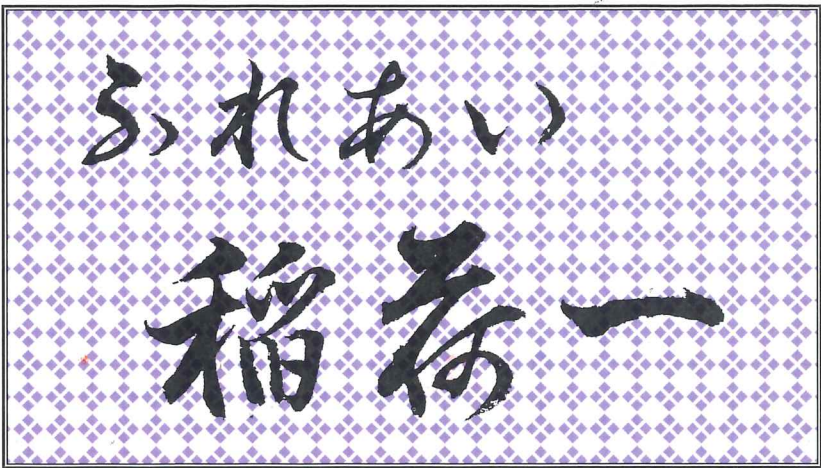


第42号

発行 稲荷第一地区まちづくり会
 社会福祉協議会稲荷第一支部
 編集 広報部
 稲荷第一市民センター内
 〒311-1115
 水戸市大串町2134
 TEL:029-269-2213
 印刷 (有) 泰平印刷
 水戸市栗崎町1608-3
 TEL:029-269-2270



稲荷第一地区「福寿のつどい」

○「福寿のつどい」のご挨拶

水戸市社会福祉協議会
 稲荷第一支部支部長 宮部 永一

「稲荷第一地区福寿のつどい」は、令和五年九月十七日(日)感染症対策を十分に行い、盛会裡に開催することが出来ました。

四月一日時点で、満七十五歳・八十歳・八十五歳になる節目の方と、九十歳以上の皆様が対象者となり、前年度から福寿のつどいとして、スタートを致しました。

稲荷第一地区の対象者は、二百二十八名で、この内コロナ禍の状況下に拘わらず、四十一名の方のご参加を頂き、式典においては、高橋靖水戸市長始め、来賓各位のご祝辞を賜り、その後、アトラクションを楽しんで頂きました。

福寿のつどいの目的は、平均寿命の延伸に伴う高齢化社会において、地域に目を向け、そして、地域の一員として活躍を願うことを期待すると共に、多年に亘り地域の隆盛・伸展にご尽力を頂いた皆様方に感謝と敬意を表し、心より長寿をお祝い申し上げる次第でございます。





第62回 水戸市体育祭

(スポーツ交流会)

と き 令和5年10月8日(日)

ところ 水戸市立稲荷第一小学校体育館



○ 社会福祉事業の状況
 社会福祉協議会稲荷第一支部
 副支部長 出澤 孝夫

本年度は、新型コロナ禍の影響を受けながらも、社会福祉事業の目的に即応した活動を実施しております。

「福寿のつどい」は、役員等の皆様のご協力を戴き、九月十七日(日)に開催を致しました。

米寿のお祝いについても、記念品を添えてお祝いを致しました。

また、ひとり暮らしの高齢者には、年末助け合い行事として、民生委員等のご協力を得て、お弁当を配布しました。

最後に、来年度についても、皆様のご協力を賜りながら、事業活動を行いますので、宜しくお願い致します。



第18回
稲荷第一ふれあいまつり

と き 令和5年11月19日 (日)

と ころ 水戸市稲荷第一市民センター



地域の子供達

○「笑顔は自分たちでつくるもの」
 水戸市立稲荷第一小学校

校長 森 久美子

今年度目指すは「世界で一番？みんなが笑顔になれる学校」です。コミュニケーションを備え、人に伝えるプレゼン力を身につけさせようとする学校区全小中学校で取り組んでいます。その中で、他校に本校の自慢を伝え合う場面がありました。どの学年も自慢として挙げたのが「笑顔プロジェクト」です。このプロジェクトは、自身の課題を見つけクラスや学年が一つになり、解決に向けて取り組むプロジェクトです。

一・二年生の取り組みが全校を動かし、トイレのスリッパ揃えや校舎内外の美化活動においても、如実に表れています。

また、環境を守ろうとする教科から発展した取り組みも見られ、児童自身が自分たちの環境を整えようとしています。これは児童の主体性を引き出し、未来社会で活躍する力を付けるための本校の核となる取り組みです。

児童のやってみてみたい気持ちを後押しをしながら、達成感を持たせ、全員が笑顔になれる学校づくりが目標です。

子ども一人一人が、その子らしくのびのびと成長することができるよう、職員一同全力を尽くして参ります。ご理解とご協力を引き続きよろしくお願いたします。

園児達は、地域の方々をはじめ、様々な人と関わり、色々なことを体験して日々成長しています。また、心地よく安心して、楽しく活動できることで健やかな育ちに繋がるのではないかと感じています。この一年、わくわく体験ができる環境を工夫して、遊びの充実を図ってきたことで、意欲的に活動する場面が見られるようになりました。

園児達は、地域の方々をはじめ、様々な人と関わり、色々なことを体験して日々成長しています。また、心地よく安心して、楽しく活動できることで健やかな育ちに繋がるのではないかと感じています。この一年、わくわく体験ができる環境を工夫して、遊びの充実を図ってきたことで、意欲的に活動する場面が見られるようになりました。

水戸市立常澄認定こども園
副園長 西海 夕子



○「様々な人との関わりを通して成長する園児を目指して」

本年度は、九月の福寿のつどい、十一月のふれあいまつりに、ウクレレ演奏で参加を致しました。また、クラブ全員のチームワークも良く楽しいクラブです。ウクレレ演奏等に関心・興味がある方の見学等を歓迎していますので、是非、おいでください。

ウクレレクラブは、(第2・第4水曜日)をレッスス日とし、楽しく活動しています。クラブのメンバーは、女性十人・男性二人の十二人です。令和四年の春からスタートし、まだ若い(?)クラブです。講師やセンター所長を始め、職員の皆様のお力添えを頂きながら、活動に取り組んでいます。

ウクレレクラブは、(第2・第4水曜日)をレッスス日とし、楽しく活動しています。クラブのメンバーは、女性十人・男性二人の十二人です。令和四年の春からスタートし、まだ若い(?)クラブです。講師やセンター所長を始め、職員の皆様のお力添えを頂きながら、活動に取り組んでいます。

代表 岩瀬 廣

○ウクレレクラブ



稲荷第一市民センター定期講座

令和五年十一月十五日(水)稲荷第一小学校を会場に市民センターの絵がみ講座の皆さんが講師となり、絵がみを小学二年生を対象に教えました。題材のピーマンの描き方・色の塗り方・色の出し方等を日頃の講座で培った経験を活かして丁寧に説明をし、困っている子供達には、優しく背中を押すように声掛けやアドバイスをすると、出来上がった作品は、初めてだとは思えないほど、素晴らしい出来映えになりました。

令和五年十一月十五日(水)稲荷第一小学校を会場に市民センターの絵がみ講座の皆さんが講師となり、絵がみを小学二年生を対象に教えました。題材のピーマンの描き方・色の塗り方・色の出し方等を日頃の講座で培った経験を活かして丁寧に説明をし、困っている子供達には、優しく背中を押すように声掛けやアドバイスをすると、出来上がった作品は、初めてだとは思えないほど、素晴らしい出来映えになりました。

地域学校協働活動事業
稲荷第一市民センター
職員 川崎 頼子

○「稲荷第一小学校との市民センターたより」



広報誌「ふれあい稲荷一」第四十二号を発刊するにあたり、ご協力戴いた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

広報 部長 出澤 孝夫
広報 副部長 木村 栄子
谷田部 佐知子
渡辺 奈穂子

編集後記



子供達からは、「楽しいから明日もやりたい」「早く持ち帰ってみんなに見せたい」等、喜びの声がありました。子供達にとっても、絵がみ講座の皆さんにとっても、貴重なひとときとなりました。